

Good Taq (250Units)

Cat No. CR-10-250

【目的・用途】

Good Taq は、好熱細菌 *Thermus aquaticus* 由来の耐熱性 DNA Polymerase 遺伝子をクローニングし大腸菌にて大量発現・高度に精製したものです。本酵素は 5'→3' DNA ポリメラーゼ活性と、5'→3'エキソヌクレアーゼ活性を持ちます。PCR 産物の 3'末端側には A (アデニン) が付加されるため、そのまま TA クローニングが可能です。

【特徴】

- 1) 高効率・高感度な増幅が可能なスタンダード DNA Polymerase
- 2) ルーチン PCR に最適
- 3) 得られた産物はそのまま TA クローニング可能

【キット内容】

Good Taq (250U)

内容	容量
Good Taq, 5U/μL	50 μL
10x Good Taq Buffer ※	1mL
Ultra dNTP Mix (2.5mM each)	0.8mL

※ 10x Taq Buffer は 15mM の MgCl₂ を含みます

【使用期限】

- ・ -20℃ 保存にて 1 年間 (4℃ 保存の場合、3 ヶ月)
- ※ 凍結融解を繰り返さないようにしてください。

【本品以外に準備が必要な試薬】

- プライマー (Forward, Reverse)
- 鋳型 DNA
- PCR グレード水

【活性(U)の定義】

活性化サケ精子 DNA をテンプレート-プライマーとして用い、74℃において、30 分間に 10 nmol の全ヌクレオチドを酸不溶性沈殿物に取り込む活性を 1U と定義しています。

【使用方法】

● 一般的な反応液組成 (50 μL 反応系の場合)

試薬	容量	終濃度
10x Good Taq Buffer with Mg ²⁺	5 μL	1x
Ultra dNTP Mix, 2.5mM each	4 μL	200 μM each
Forward Primer, 10 μM	2 μL	0.4 μM
Reverse Primer, 10 μM	2 μL	0.4 μM
Template DNA	< 1 μg	< 1 μg/50 μL
Good Taq, 5U/μL	0.25 μL	1.25U/50 μL
PCR グレード水	Up to 50 μL	

《Note》

- 1) プライマーの終濃度はそれぞれ 0.1~1.0 μM ずつ程度をお勧めします。プライマー濃度を上げると増幅効率が上昇し、プライマー濃度を下げるとバックグラウンドの低い PCR 産物を得る事ができます。
- 2) Mg²⁺の終濃度 1.5~3mM をお勧めします。

● 一般的な PCR 反応条件

	温度	時間	サイクル数
熱変性	94℃	2 min	1 x
熱変性	94℃	30 sec	25~35 x
アニーリング	55~65℃	30 sec	
伸長反応	72℃	30 sec	
伸長反応	72℃	2 min	1 x

《Note》

- 1) アニーリング温度は、プライマーの T_m 値 -5℃ に設定します。エキストラバンドが多く見られた場合はアニーリング温度を上げてください。また、PCR 産物の収量が低い場合はアニーリング温度を下げてください。
- 2) 伸長反応の時間は増幅する断片の長さによって変わります。Good Taq の伸長速度は 2kb/min です。



株式会社 アプロサイエンス

☎ 088-683-7211 □ info@aprosci.com

<http://aproscience.com/>

〒771-0360 徳島県鳴門市瀬戸町明神字板屋島124-4